

平成29年度学校評価・関係者評価書

加西市立加西中学校

学校教育目標

「自ら学び続ける、心豊かな生徒の育成」

本年度の重点

- 1 「基礎・基本の徹底」と「新たな学び」への挑戦
- 2 「道徳・人権学習」の推進と「基礎モラル力」の育成
- 3 「健康管理能力」の育成と「安全・安心な学校」づくり
- 4 「教職員の資質」の向上
- 5 「保護者、地域との連携」と「信頼される学校」づくり

総合的な自己評価

- 本年度の重点事項への取組は概ね評価できる結果であった。
- 昨年度の取組を継続し、基礎・基本の定着をめざして授業改善に取り組めた。
- 道徳の時間の充実に取り組み、生き方について考える生徒が増えた。さらに生徒や保護者の思いに寄りそう指導について研修を行う必要がある。
- 生徒の自尊感情を育み自立を促すため、保護者や地域との連携を強化するとともに、継続して教師力の向上に取り組む必要がある。

学校評価の方法についての学校関係者評価

- 評価の資料として教職員の自己評価や全国学力・学習状況調査の結果、保護者のアンケート等が準備されており、4段階での評価も適当である。
- 教職員の自己評価に関して、目標の達成度を数値化した評価の導入も検討すべきではないか。

総合的な学校関係者評価

- 学校教育目標を念頭に授業改善に取り組み、基礎・基本の徹底、学びに向かう力の充実に取り組んでいる。
- 道徳教育と仲間づくりを重視し、豊かな心と共に生きる姿勢の育成に取り組んでいる
- 保護者や地域への情報発信をさらに充実させるとともに、中学生の地域活動への参加を促し、学校・家庭・地域の連携を進めてもらいたい。

学校自己評価結果 A…よくできた B…できた C…あまりできなかった D…できなかった

評価項目ごとの学校関係者評価

分野	評価項目・取組内容	評価	学校の取組状況(○)・課題・改善の方策(□)	自己評価結果および改善方策の評価
1 「新たな基礎的な学び」の徹底の挑戦	自ら学び、自ら考える力の育成 ・指導内容・指導方法の工夫改善 ・体験的・問題解決的な学習の時間の工夫 ・節度ある学習の場づくりの推進 ・言語活動の充実にに向けた研究の推進 基礎・基本の定着と個に応じた学習指導の徹底 ・指導方法の工夫改善 ・評価方法の創意工夫 ・教科会における学習指導の推進 総合的な学習の時間 ・全体計画をもとに各教科との関連を図った指導の展開	A	<input type="radio"/> 相互授業参観が授業改善につながっている。 <input type="radio"/> 生徒の思考力を高める発問を工夫をしている。 <input type="radio"/> 少人数授業や複数指導で、きめ細かな指導ができている。 <input type="radio"/> 学習規律の徹底に努め、落ち着いた授業を実現している。 <input type="radio"/> ICT機器を活用する授業が増えている。 <input type="checkbox"/> 継続して授業改善に取り組む必要がある。 <input type="checkbox"/> 学ぶことの意義を考えさせながらキャリア教育の視点で指導をする。 <input type="checkbox"/> 引き続き指導計画の改善と指導の充実に図る。	<b>評価できる。</b> ・昨年度の研究成果を継続し、授業改善に取り組む成果を上げている。 ・思考力・判断力・表現力等を意識した指導がなされている。主体的に学ぶ生徒の育成に尽力願いたい。 ・相互参観授業やミニ研修等の取り組みを継続し、指導力の向上を期待する。 ・ICT機器の活用を図り、生徒の興味関心を高め、学ぶことの楽しさを実感させてほしい。

分野	評価項目・取組内容	評価	学校の取組状況(○)・課題・改善の方策(□)	自己評価結果および改善方策の評価
2 「基礎学力」の育成推進と	道徳教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教育活動における道徳性の育成</li> <li>・道徳の時間の指導の工夫</li> </ul> 人権教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育推進体制の整備充実</li> <li>・人権尊重の精神の育成</li> </ul> 生徒指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の自主・自立の精神を育む指導の工夫</li> <li>・生徒指導方針の確立</li> </ul> 特別活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年に適した学級指導の推進</li> <li>・生徒の手による生徒中心の学校づくり</li> </ul>	B	○学年で授業づくりに取り組むことで意見交換が活発になり、授業改善につながっている。 ○誰もが道徳の授業を行い授業改善を図っている。 ○いじめを含む問題行動の早期発見・早期対応を心掛け、保護者との連携を図っている。 ○S C と連携し生徒の内面理解に努めている。 ○生徒会活動や学年活動等において、生徒を主体とした活動を支援している。  □人を傷つける、心ない発言がまだまだ多く、言葉の大切さを理解させる指導が必要である。 □不登校生への関わり等、思春期の生徒指導を研究する必要がある。 □生き方を深く考えさせ、生徒の自立を促す。	<b>概ね評価できる。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が道徳の授業を相互に参観し意見を交換することで、生徒はもちろんのこと教師の向上にもつながっている。</li> <li>・仲間づくりを意識した教育活動を充実させ、いじめを許さない学校をめざしてほしい。</li> <li>・不登校生が増加傾向にあることが心配である。学校への復帰と新たな不登校生をださない取組が必要である。</li> <li>・SNSを利用する生徒が増えトラブルに巻き込まれたりする危険性が高まっている。自分で正しい判断ができるよう生徒を育ててほしい。</li> </ul>
3 「安心・管理能力」の学校づくり	体育・スポーツ活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力レベルに応じた運動処方の定着化</li> <li>・健康管理能力の育成</li> </ul> 部活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の心身の健康増進と成就感の体得</li> </ul> 防災・安全教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育の推進と教員の指導力・実践力の向上</li> <li>・交通事故防止や不審者対策など安全対策の徹底</li> </ul>	A	○体育の授業や部活動、体育的行事において、生徒の力を十分に発揮させる指導を工夫している。 ○保健だよりの発行や給食の献立等の放送で、健康維持に必要な情報を発信している。 ○部活動を通して好ましい人間関係をつくり、規範意識を高める指導を心掛けている。  □新体力テストの結果等から課題を把握し、体力の向上を図らねばならない。 □歯科・眼科検診の結果をもとに早い段階での矯正や治療を進める。 □生徒自身の危機対応能力を高める必要がある。	<b>概ね評価できる。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の授業や部活動の指導等において体力や技術の向上を図るだけでなく、人格形成を意識した取組がなされていることは評価できる。</li> <li>・欠席確認、生徒の健康状態の把握を行い適切な健康指導がなされている。</li> <li>・保健だよりの発行や給食時の放送によって健康維持の発信ができています。</li> <li>・通学路の点検等交通安全対策を充実させ、生徒の意識も高めてほしい。</li> </ul>

<p>4 「教職員の資質向上」</p>	<p>教職員の資質向上 ・継続的な研修の実施</p> <p>教職員の健康管理 ・高い綱紀意識の保持と意欲の向上</p> <p>教職員の協力体制 ・一致協力できる教職員組織</p>	<p>B</p> <p>○相互授業参観や道徳のローテーション授業、ICTミニ研修など工夫した研修を実施できた。</p> <p>○コンプライアンス研修やアンケートを実施し公務員としての自覚を高めている。</p> <p>○会議の運営を工夫し、議題の精選と積極的な議論を行っている。</p> <p>□事例よりも指導の情報を共有する必要がある。</p> <p>□公務において負担が集中することがないように、協同体制を充実させる必要がある。</p> <p>□教師力向上を常に意識すべきである。</p>	<p><b>概ね評価できる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員のコンプライアンス意識を高め学校の信頼を維持してもらいたい。</li> <li>・ICT機器は生徒の興味関心を高めるうえで効果的である。有効な活用を進めてほしい。</li> <li>・授業改善に加え、生徒理解に力を注ぎ個に応じた指導の工夫を期待する。</li> <li>・教職員の健康維持に留意してほしい。</li> </ul>
<p>5 「信頼される地域学校との連携」と</p>	<p>開かれた学校づくり ・家庭や地域の人々への情報発信 ・生徒の地域行事等への参加促進 ・地域の人々と語り合う場の充実</p> <p>危機管理体制の整備 ・実効性のある学校危機管理マニュアルの策定 ・家庭地域及び関係機関と連携した危機管理体制の確立</p>	<p>B</p> <p>○定期的な学年・学級通信、ほけんだより等の発行や、学校ホームページを活用して、学校の情報を家庭や地域に発信できている。</p> <p>○交通ルールやマナーの重要性を指導し、登下校指導には保護者にも参加を依頼している。</p> <p>○本年度から、信号のない交差点では自転車を降りて左右確認を行ってから横断するように改めた。</p> <p>□自転車の並進走行があり、安全の意識が低い生徒がいる。</p> <p>□地域行事への参加が減り、地域とのつながりが希薄になりつつあるのではないか。</p> <p>□避難訓練や防災教育は実施しているが、災害発生時の危機対応マニュアルの確認が必要である。</p>	<p><b>概ね評価できる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年通信で行事予定、学級通信で生徒の様子が発信されている。学校ホームページの充実も図られている。</li> <li>・危機管理意識をもって安全安心な学校を維持してほしい。</li> <li>・中学生は部活動があるため地域の行事や子ども会の行事への参加が少ない。学校と地域が行事予定等を共有して、中学生の地域参加を進めていきたい。</li> <li>・中学生は地域の人等への挨拶はとてよくできている。</li> </ul>
<p>6 その他の教育課題</p>	<p>進路指導 ・主体的な進路選択能力の育成 ・職業・勤労観の育成と計画的な進路指導 トライやる・ウィーク等体験活動の充実 ・家庭地域との連携、生徒の意識やコミュニケーション能力を高める指導の工夫</p> <p>環境整備 ・校内環境の整備</p>	<p>A</p> <p>○発達段階に応じて、自分を知り、職業を知り、進路を決定する指導を行っている</p> <p>○ボランティアの方々の尽力により、生徒は好ましい勤労観や職業観を身につけている。将来について考えるきっかけとなっている。</p> <p>○古い校舎ではあるが、整理整頓を心掛けている。</p> <p>□キャリア教育の視点に立って、学ぶ意義、働く意味を考えさせる必要がある。</p> <p>□教師の危機管理意識を高める必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校進学だけでなく、将来の職業や生き方を意識した進路指導を目指していることは評価できる。</li> <li>・トライやるは生徒には新鮮な体験である。意義を見失うことなく取り組んでほしい。</li> <li>・自転車置き場、下足箱、教室の棚等、整理整頓ができています。学びやすい環境づくりは評価できる</li> </ul>